

2024年1月24日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
(コード番号: 8732 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長兼人事部長  
宇留野 真澄  
(TEL. 03-4540-3804)

## 2024年3月期第3四半期連結業績速報値に関するお知らせ

2024年3月期第3四半期決算短信(連結)につきましては、1月31日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績速報値(2023年4月1日~2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
2024年3月期 第3四半期(速報値)	4,229	899	889	599
2023年3月期 第3四半期(実績)	4,310	989	980	675
増減率(%)	△1.9	△9.1	△9.3	△11.3
2023年3月期 (実績)	5,819	1,306	1,292	793

当社グループは、金融商品取引業(外国為替証拠金取引業)を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

上記の速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

## 2. 前第3四半期実績と当第3四半期速報値との差異の理由

営業収益は、スプレッドの縮小を更に推し進め、キャンペーンの拡充など積極的な営業を展開しましたが、FX約款に定める不適切取引による一時的な収益性の悪化や外国為替相場の変動率低下による取引高減少の影響を受けトレーディング損益が減少した一方、システム関連売上高が増加し、4,229百万円(前年同期比81百万円減少、1.9%減)となりました。

営業費用は、キャンペーン費用が増加したほか、将来的なコスト削減等を目的とした基幹システムのクラウド化のフェーズの進行に伴い、その費用が前年同期比101百万円増加(135.4%増)となった一方、カバー関連取引の費用や減価償却費(主にリース資産の償却期間終了による減少)の減少に加え、6月末のマネパカード利用停止に伴い運転費用及び維持費用が解消したこと等から前年同期比微増の3,330百万円(同8百万円増加、0.3%増)となりました。

これらの結果、営業利益は899百万円(同90百万円減少、9.1%減)、経常利益は889百万円(同91百万円減少、9.3%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、台湾のFX業者へのカバー取引業務からの撤退決定に伴いソフトウェアの減損損失9百万円を計上したことや、法人税等合計が280百万円(同24百万円減少、7.9%減)となったことから599百万円(同76百万円減少、11.3%減)となりました。

(注) 営業費用は売上原価、金融費用、販売費・一般管理費の合計

以 上